

講師紹介 03



Name

新川 聖平

Birth.

1995.11.1

Born

池田町

Live

岐阜市

Company

株式会社イージス
(岐阜市)

Studies history

池田中学校
大垣西高校 中退
城南高等学校 (通信制)

Work history

揖斐川町の建設会社
起業して今に至る



INTERVIEW

Q

今の事業所(会社)がやっている業務内容と、自分自身のお仕事内容を教えてください。

東海三県に建っている、古くなった住宅やビルなどの建物を取壊し綺麗な更地に戻す「解体工事」という業務をしています。一年間で500件程度の建物を解体しているので、1日に1棟以上どこかで何かを壊しています。自分自身は会社の代表として、お客様との打ち合わせをしたり、工事現場が安全で品質が保たれているかの見回りをするなどを行っています。また、社内においては、社員のみんなが働きやすい環境づくりにも取り組んでいます。



Q

中学2年生の時はどのような学生でしたか？

友達ということが好きで、部活動や授業などすべてに積極的にエネルギーでした。流行りの音楽やお笑い、髪型などの「人気があるもの」に興味があり多感な学生でした。



Q

進路について考え始めたのはいつ頃ですか？

中学2年生の時です。雑誌などで見たカリスマ美容師に憧れて、最初は美容師になりたいと考えていました。



Q

この地域ではなく、都会で働きたいとは思いませんでしたか？

都会への憧れはありました。家族旅行などに行ったことが無かったので、中学3年生の修学旅行で初めて東京に行った際に、都会のビルと人の多さに衝撃を受けました。絶対にこんな田舎を抜け出して東京で働くんだ！そんな事を考えていた時期もあります。



Q

この地域の良さは何だと思いますか？

暮らしやすさだと思います。自然が豊かで田舎過ぎず、名古屋や大垣、岐阜市内へのアクセスも良い。大人になってから全国各地に行きましたが、家族で住むなら岐阜が一番だと思います。



Q

今の仕事に就くために、何をしましたか？

高校を中退して、15歳で揖斐川町の建設会社に入社したのですが、周りより早く社会の現実や厳しさに触れることができたおかげで、自分の将来を強く意識していました。将来は起業する事を決意し、貯金や多くの職業の事を勉強しました。また、会社の中では3年間で一人前になると決めて工事現場で一生懸命働いていました。



Q

今の仕事の大変なところと、やりがいを教えてください。

解体工事はとても危険で多くの方が嫌がる仕事です。各工事現場で働く職人さんが、万が一事故でケガをすると、本人だけでなくその家族やお客様にも迷惑をかけてしまうという責任が常にあります。ただ、そんな危険で嫌な作業をスマートにこなして、お客様から「ありがとう」と言ってもらえることがとても幸せですし、カッコいいと思っています。



Q

その業界の仕事に就くためには、どうすればいいですか？

解体工事業の職人として就職するためには資格や学歴など一切必要ありません。働こうと思えば15歳からでも働けます。営業職や現場管理者として就職するのであれば、普通自動車免許が必要になるので18歳からであれば働けますし、近年では女性スタッフも多く働いています。一昔前では屈強な男性が就く仕事のようなイメージが強く残っていましたが、現代の解体工事業界はサービス業に近くなってきていて、「よりお客様に喜んでもらうためにはどうしたら良いか」を考えていく事が大切です。誰かを喜ばせることが好きな方なら、やりがいがあって楽しいと思います。

